

## 豊見城道路全線開通により 交通量が昨年度比で64%増加

〔 ETC平均日利用台数は昨年に比べ約1.4倍に増加  
モノレール平均日利用者数も昨年比で8%増加 〕

- ・ 県内直轄国道と沖縄自動車道の旧盆期間中（旧暦7月11日～7月17日）の1週間の交通量について調査をしましたので報告します。

平成18年8月4日～8月10日間の平均日交通量と、平成19年8月23日～8月29日間の平均日交通量で比較しました。

<恩納村～宜野座村の北部、別添A断面において>

- ・ 昨年と比べ国道58号は1%減少、国道329号は1%減少、沖縄自動車道は10%増加しておりA断面合計で3%増加しています。

<宜野湾市～中城村、別添B断面において>

- ・ 昨年と比べ国道58号宜野湾BPは6%増加、国道329号はほぼ横ばい、沖縄自動車道は9%増加しておりB断面合計で6%増加しています。

<豊見城市、別添C断面において>

- ・ 国道331号現道部の交通量が昨年と比べ1%減少、豊見城道路が64%増加しており、C断面交通量としては26%増加しています。

<その他>

- ・ ETCの平均日利用台数は昨年同時期と比べ約1.4倍と伸びています。
- ・ モノレールの平均日利用者数（実車ベース）は、昨年同時期と比べ8%増加しています。

### 【考察】

- ・ 平成19年3月に沖縄西海岸道路豊見城道路が全線開通し、あわせて豊見城市豊崎地区の新店舗等の地区開発が進んだことにより、豊見城道路の交通量が大幅に増加したと考察される。
- ・ 国道の交通量が昨年度比ほぼ横ばいなのに対し、沖縄自動車道の交通量が増加した理由として、ETC時間帯割引やETC普及促進キャンペーン等により、ETC利用台数が伸びたことによる効果だと考察される。

平成19年9月6日

問い合わせ先：沖縄総合事務局開発建設部道路建設課

課長 金城 博  
道路計画調整官 高良 哲治

電話 098-866-0091（直通）

# 旧盆期間中(旧暦7月11日~7月17日)の交通量等について (対平成18年の日交通量との比較)

